

# 第82回都市対抗野球大会

東京ガス										2 回戦											JR東海							
										2011/10/28											京セラドーム大阪							
投手成績										投手成績											投手成績							
【特記事項】										【特記事項】											【特記事項】							
●*上松、*高山、岩佐										○秋葉、大福																		
松田										江口																		
本塁打										日野原																		
三塁打										池田																		
二塁打																												
計										計											計							

  

回	打者	安	振	球	点	責
上松	3 2/3	18	5	1	3	2 2
高山	3 1/3	11	1	4	0	0 0
岩佐	2	6	0	1	0	0 0
計		35	10	1	3	4

  

回	打者	安	振	球	点	責
秋葉	6	30	9	1	2	1 1
大福	3	11	1	2	2	0 0
計		29	6	1	6	3

都市対抗野球・2回戦。先発のマウンドを任された上松は、初回からヒットなどでランナーを背負う苦しいピッチング。しかし、そこからは粘りのピッチングを見せ、3回まで無失点に抑え、味方の反撃を待つ。先制点を奪いたい打線は、初回。藤井のヒットと、佐々木の四球で得点圏にランナーを進めるも、あと1本が出ず無得点。2回には、鮫島の2塁打で、3回には大崎の2塁打などで3塁までランナーを進めるも、後続が続かず先制点を奪うことができない。すると、迎えた4回。それまで粘りのピッチングを続けてきた上松は、3連続長短打を浴び、2失点。リードを許す。早い回に反撃したい打線は、毎回のように入線者を出し、チャンスを作る。5回には、大崎・佐々木の連打で3塁まで進めるも、あと1本が出ず、得点を返す事ができない。しかし、迎えた6回。松田・濱田の連打などで、2死ながら1・3塁と好機を迎えると、ここで、荒川がレフト前にタイムリーを放ち、待望の1点を返す。5回以降は、高山・岩佐とつないで相手に得点を許さず、味方の追撃を待つ。7回には、大崎のこの日3本目のヒットなどでチャンスを作るも、あと1本が出ない。その後も、再三チャンスを作りながらも、相手投手の粘りのピッチングの前に、得点を奪うことが出来ず、1点差で惜敗。2回戦敗退が決まった。